プリンセス 小公女セーラ

第2話

『エミリー人形』

AR台本

企画
制作
日本アニメーション株式会社

プリンセス
小公女セーラ

第二話 『エミリー人形』

登場人物

セーラ……………島本須美

ミンチン先生……………中西妙子

クルー……………銀河万丈

アメリア……………梨羽由起子

ピーター……………坂本千夏

マリエット…………高木早苗
モーリー…………向殿あさみ
ジェームス…………郷里大介
ジェシー…………中野聖子
ガートルート…………佐々木るん
ジェニフラ…………
子供服店の主人…………

カメラ	画面	音声
1	F・I 冬の寒空（どんよりと曇っている今にも雪が降りそうな空）にそびえ立つセントポール寺院	
2	寺院の周囲に馬車が止まっている、礼拝人が出てくる	S・E（鐘の音）←〜
3	出てくる人々 セーラ、父娘も出て来る セーラ喜んで上をさす	N 「お父様がインドへ帰っておしまいになる日の朝、私は、お父様におねがいして、セントポール寺院に、二人にとって最後の礼拝に行きました」
4	鳩が舞う．PAN→	
5	鳩を目でおうセーラ	
6	見上げていたが見下ろすクルー T・B セーラの肩の上に手をおく、にっこりと笑って二人歩き始める	N 「お父様と一緒にいられる時間もあと僅か……私は、その悲しみを隠すように、お父様に話し続けていました…」←〜〜

7	セーラ、クルーの背に手を回しよりかかるように前にあるいていく（セーラは父に話しかけるように、父はその話をきくように歩く）奥へ行き止る二人 セーラ、父からはなれ、前に回りこむ（元気よく急いで）	
8	明るく振る舞うセーラ うなづき元気にくるりと回るセーラ	セーラ「それでね、お父様、私、最後に天国のお母様にお祈りしたの、エミリーと早く逢えますようにって……」 クルー(off)「……ほう、お人形のエミリーのことをか…」
9	回って止るセーラ 前に出るクルー セーラくるりと振り返り父を見上げる、父にしがみつくセーラ	セーラ「……私、きっと見つかると思うの！」 クルー「判ったよセーラ……では、もう一度エミリーを探しに行くことにしよう…」 セーラ「わあー!!」
10	しがみつき甘えるセーラ	セーラ「……うれしい…!!」
11	父からはなれ石段を下り走って	セーラ「ピーター！」

	いくセーラ」		
12	ジャンプを撫でているピーター 振り返る		ピーター「はい！　お嬢様‼」
13	セーラ、ピーターに向って		セーラ　「悪いのだけど私、お父様と少し歩く から、馬車でゆっくり尾いて来て下さ らない？」 ピーター「承知しました、お嬢様…」
14	街のにぎわい（画止）		
15	街のにぎわい　　←PAN （カット一杯）		
16	オモチャ屋のウインドウを見て いるクルー、父娘		
17	振り返り首を振るセーラ あるき出す		
18	歩く二人		

カット	内容		セリフ
19	TOYSHOP PAN・D 出てくる父娘 出て来て止りウインドウを見る クルー、セーラ先に歩いていく ふと振り返り、引き返して父の手をひく、手をひかれ歩き出す クルー、微笑している		セーラ「あのねー、お父様〜 エミリーってもつと、ほんとに生きているみたいに見える女の子なの!!」
20	父を見上げてあるくセーラ FOLLOW 尻止るセーラ		
21	止るクルー、つられて合槌をうつ		クルー「……ふむ……?!」
22	得意になって話すセーラ		セーラ「……私がねお話すると、じっと聞いてくれるみたいに見えるとてもお利巧さんな子なのよ」
23	おもちゃがいっぱい PAN・UP（カット一杯） 外より眺めている二人、不満げに見上げるセーラを見つめるクルー		

24	飾り窓の人形		セーラ(off)「だって……ほら、普通のお人形さんって、みんな人の話なんて、まるで聞いてないみたいでしょ……」
25	人形		
26	人形		
27	動く人形（化粧する少女）		
28	店内、クルリとクルーの方を見るセーラ（止る人形） 大きくうなづくクルー		セーラ「エミリーはね、そうじゃないのよ…」 クルー「……探してみよう…」
29	人形の飾ってあるウインドウ、クルーの足入り止る		クルー(off)「どうかね、この中にエミリーはいるのかね」
30	セーラ、覗き見ている父を見上げて首を振る		セーラ「エミリーはねお父様!! ……金髪で 〜 やわらかく、肩までかかっているの、帽子は花の飾りで花壇のように見えるのよ 眼は灰色かかった青い色で、夢みるようにいつも私を見つめているのよ」
31	あるきながら話すセーラ		
32	セーラ		

33	リージントストリート止まっているピーターの曳く小型車 騒ついている通りを行くダブルデッカー		
34	寒そうに空を見上げて襟をつかみ首を縮める、前方を見てにっこりするピーター、しゃんとして手綱を打つピーター		ピーター「ハイヨー!!」
35	店より出てくるセーラとクルー奥へ行く、手前より奥へ行くピーター馬車		
36	父を見上げて歩くセーラ FOLLOW		セーラ「私ね……お父様……インドでお友達とお別れした時、とても悲しかったの…… 〜 だってお友達っていつまでもずっと仲良しでいるものでしょ……」
37	本屋のウインドウ、セーラたちの行くのがウインドウにうつっている		
38	街を行く父と娘、行き交う馬車 FOLLOW		セーラの声「だから私、エミリーとはいつまでも、ずっと仲良しでいたいの、エミリ

	溜息まじりのクルー		ーだってきっと私の一番いいお友達に なってくれると思うわ…」 クルー「成る程…」
39	ピーターが止まっている大型店 の看板（ハムレイズ）		
40	人形売場、セーラ来て（走って） 見て、不満気な表情でスタスタ と去る		
41	スタスタと来て人形の前で止り 眺め回して首をひねるセーラ		
42	クルー、キョロキョロとさがし ている、大きく溜息をつく への字の眉、ややつかれた表情 で又探す はっとなり笑顔になって去る		
43	どんどん見て次々うつっていく セーラ、クルー来て		クルー「この中なら、エミリーがいそうな気 がするが…」

			セーラ「みんな可愛いらしいお人形さんだけど、エミリーとは少しずつ違うわ」
44	眺めては不満足な顔をして次へうつる、そのテンポは速い（一度はにっこりとする）		
45			クルー「セーラ、ほら素晴らしいく可愛い人形があるよ……あれはエミリーにならんのかね」
46	人形、走って来て見るセーラ		
47	じっと見つめているが、ふんと人形をにらむ、くるりと振り返る		
48	父の前へ勢いこんで来て止り、おこる プンプンして父の前を去るセーラ FOLLOW PAN← out していくセーラ、大きく溜息をして		セーラ「お父様!!……エミリーはほんの少し口を開いて、いつもお話したそうな顔をしてるのよ、あれはエミリーじゃないわ!!」 クルー「……フー！ やれやれ！」

49	門のある建物（PAN・D） 奥から門をくぐってくるセーラ父娘、後からピーターの操る馬車		
50	手前から奥え行く二人		
51	ウインドウをのぞく父と娘、クルー先に行く　—間— セーラ身を翻して走り去る	ガタ.?	クルー(off)「セーラー!!」
52	ウインドウをのぞいているセーラ、来る、のぞくセーラ		クルー「……見てごらん、あそこにエミリーがいるよ」
53	みつめるセーラ、父を見上げて 背を見せて去るセーラ		セーラ「まあ、お父様ったら……私の云ってること、少しも判ってないのね!!」
54	手前に来るセーラ くるりと振り返るセーラ		セーラ「……あれはエミリーじゃなくてよ!」 クルー「いや確かに私にはエミリーに見えるがね」
55	父見上げて		セーラ「だって、お父様、あの子は髪がお下げよ、第一、眼の色だって違ってるわ!」

56	吐息をついて、がっくりする		クルー「ふうむ……エミリーじゃないのか、ねェ……！」
57	襟を立てて寒そうに足踏をしている、水をのんでいたジャンプ顔を上げる、くるりと振り返るピーター、ポケットに手をつっこんで		
58	にんじんをつかみ出してぴょいと投げる		ピーター「ジャンプー！ ホラよ!!」
59	首を上げてぴょいと口で受けとるジャンプ、もぐもぐと食べる		
60	公園内、ジャンプに近づきなでるピーターが見える、外の通りを行き交う人や馬車		
61	重い足どりで歩いてくるクルーの足、ベンチに座る		
62	大きく息をするクルーの傍に立		

カット	内容		セリフ
	つセーラ、じっとクルーを見つめる、クルー、セーラの方を見て		クルー「困ったな……セーラ、……これだけ探してエミリーが見つからんとなると……あとは……」 セーラ「お父様!!……」
63	真険な顔をして		〜 ……エミリーは必ずロンドンにいるわ……だって、私を待っててくれる約束ですもの」
64	身をのり出して		クルー「約束…?!」
65	大きくうなづくセーラ		セーラ「ええ……」 クルー「ほう……」 セーラ「私……私……お父様を離れて独りでロンドンで勉強する事に決った時、そっと心の中で、エミリーとロンドンで逢う約束をしたのよ」
66	見つめるクルー		
67	アオリ　夢見るように宙を見上げるセーラ		セーラ「……エミリーも、そう私に約束してくれたの……だから…だから……」

A・C

68	アオリ　セーラを見つめて微かに頷くクルー	A・C	……どうしても、エミリーを探さなくてはいけないのよ……」
69	ある露天市、テントが連なる、押し合う人々が行き交う		
70	店先、行き交う人々		
71	セーラが店をのぞきながら行く（in・out）		
72	女の人のスカートが去っていく衣裳を失ったむき出しの人形が二、三体置いてある、人形のガラクタ店、セーラ来て止り、見つめて悲しい顔		
73	悲しそうに首を振り後に来るクルー		
74	後に来たクルー、人形を見つめる、タルーの胸の中に顔をうづめるセーラをやさしくだき撫で		

	るクルー		
75	重い足どりで歩くセーラ 行き交う人々はスタスタとした足どりで行く、そのなかに走っていく足もある　FOLLOW そのうちに止るセーラの足		
76	沈みこんでうつむいているセーラをのぞきこむクルー、肩に手を囲す、クルーを見上げて力なく歩き出すセーラとクルー		
77	沈んであるくセーラ FOLLOW		
78	セーラの肩に手をかけて手前にあるいてくる父と娘、止りクルーを見上げるセーラ		セーラ　「可哀想……あのお人形さんたち……」 クルー　「セーラ……矢張り、エミリーはあんなところにいないのだよ」
79	淋しげな表情でクルーを見上げている、力なく歩き出すセーラ		セーラ　「でも……もしエミリーが、着るものもなくてあんな様子でいたら……」

	はっとなって止まる みるみる喜びの表情に変っていく、魅られたように走り出すセーラ、前に出るクルー		セーラ「(呟く)お父様……!」 クルー(off)「どうしたんだね…」
80	止って明るい笑顔で振り返るセーラ		セーラ「エミリーよ…!! ……エミリーがいたの!!」
81	クルー、手前へ急ぐ		クルー「え——!!!」
82	ウインドゥのなかに椅子に座った人形の頭が見える、セーラ覗き見て喜び顔、振り返り、入って来たクルーの手をとり飾り窓を見るセーラ (高級子供服専門店)		セーラ「お父様! 見て!! エミリーよ!!」
83	飾り窓をのぞくクルー ホーと感の態		クルー「……?!」
84	飾り窓を見つめるクルーと喜色満面でクルーに語るセーラ (後に通行人要有)		セーラ「……エミリーはね…! ここで私達をまってててくれたのよ!!」

85	椅子に座っている人形		
86	セーラ、父を見上げて、人形の方を見るセーラ、息のはずむセーラ		セーラ「私、ちらっと見たとき、すぐエミリーだって判った！……ほら……エミリーだって私を判ってるのよ!!」 ←（こぼし）
87A	C#―85兼用　椅子に座っている人形		
87B	セーラ		
88	飾り窓を見廻すクルー		
89	飾り窓の内に並ぶ子供服のサンプル　PAN←　椅子に座っている人形		
90	やや起き上るクルー クルーを見上げるセーラ叩頭する、クルー店の方へ、セーラ見送る、セーラ飾り窓を見つめる		クルー「ふうむ……これがエミリーだったのかね……よし、話してみよう」 S.E（ギー!!　扉の開閉音）
91	C#―85兼用　椅子に座った人形		

92	じっと見つめるセーラ、後に行き交う人々、顔を上げて中の方を見るセーラ、目をパチリ		
93	店の中、他の客もいる、クルーを前にして困りきっている主人		主人「……うーむ、どうも困りましたな……手前どもは、お嬢様方の服を作る店で、〜……あの人形は服の見本をお見せする店の看板なのですよ」
94	懸命にことわる主人 クルー飾り窓の方を見る		クルー「売り物でないことは、よく判っている、しかし……〜
95	主人、ウインドウを見つめているセーラを渋面を作ってくるりクルーに背を向けて歩いて out		(off) あの娘が、どうしても欲しがっているのだ」
96	商品を見ていた客と店員キョトンと見つめて目をパチクリする（注ーちらりと見るようにして下さい）		

97	98	99	100	101
クルー、渋面の店主に寄っていき、懇願するクルー 主人、ムッとして	二人を見つめているセーラ、主人を見つめていたが、クルー、振り返り力なく扉の方へ、セーラはっとなって小走りに扉の方へ	クルー出て来る元気なく帽子を冠る、セーラその前に立ってクルーを見上げる	父を見上げているセーラ 人形の方を見るセーラ、いきなり店の中へ入っていく（走って）	店主、飾りものを手直ししている 奥の扉から手前来るセーラ
			PAN	
クルー「……お願いする……金額は、充分にお支払いするつもりだが……」 主人「呆れた方だ……金額で云ってるんじゃないのが判らんと見えますな……売る気はありません、お帰り頂きましょう」		クルー「この人形は、売り物ではないのだよ…… 〜	(off) 判っておくれ……」 クルー(off)「セーラ……！」 S・E（扉の開閉音）	セーラ「小父さま……」

102	子供服の間から顔を出す店主人 怪訝そうな顔	
103	明るい顔で	セーラ「私……セーラと云います……インド から寄宿学校へ来ました…… 〜
104	プィと子供服の後へかくれる主 人、その主人を追うセーラ	(off) ……父は今日インドへ帰るのです…」
105	主人、荷の箱の前に来て 商品を出すセーラ、主人の方へ 寄る、派手な子供服を手にして 急に立ち上る主人	セーラ「……だから私、たった一人のお友達 エミリーと一緒にいたいのです」
106		主人「エミリー……!!」
107	コックリとうなづき、人形の方 を指す（尻は主人の方へ）	セーラ「あのお人形さんのことです 私……! 〜
108	ぼう然としている主人 C―#106兼用（表情は書き足し）	(off) エミリーと仲良くします」
109	真険に懇願するセーラ	セーラ「エミリーのお母さんにもなってあげ

			たいんです」
110	セーラをじっと見つめる主人、 子供服をしずかにもち直す 主人から目線を扉の方へ		主人「……!!」 S・E（扉の開く音）
111	店の中へ入って来て止るクルー		
112	しずかにうなづくクルー セーラを見て考えるようあるき 出す		主人「……あの人形に名前まで……」 主人「……う…ん」
113	主人を目で追うセーラ		
114	考えながら奥へ歩く主人、止る 急いで振り返り 客と店員顔を見せてにっこりす る		主人「判りましたよお嬢さん……そこまで お気に入ってるとあればお渡ししない 訳には行きませんな」
115	にっこりするセーラ、クルー、 後に来てセーラの肩に手をおく 振りあおぎ微笑する		

116	クルーも微笑している、顔を上げて主人の方を見る 主人、来る		主人(off)「但し……あなたにではないお嬢さんに差し上げるのです」
117	店員と客にっこりする 主人、ウインドウの方へ行き人形をとり上げる		主人「しかし……お嬢さんは目が高い」
118	微笑しているセーラ		
119	人形を大切にだき示す主人		主人「このフランス人形は、ジュモーが残しためったに手に入らん最高傑作ですぞ」
120	人形を抱いた主人、二人の前へ はっとなって主人の方へ寄るセーラ		主人「……では箱にお入れしましょう」 セーラ「あ、いけないわ…！　箱に入れたら
121	主人の前へ来るセーラ		～エミリーの息がつまってしまうわ…！」
122	あわてて人形を差し上げて大仰に芝居する、人形をセーラに差し出す		主人「おっと…‼　そうでしたな……。では、エミリーはお嬢さんの手に…」

123	主人の手から受け取り、胸に抱きほほをすり寄せる、人形の目が閉じる（可愛いしぐさでおねがいします）		セーラ　「有りがとう小父さま……！」
124	抱きしめているセーラを満足げに見守る主人、主人の方を見上げるセーラ、父の方を振り返るセーラ、うなづくクルー、笑い出して二人を制する主人		セーラ　「……でも、この服だけでは寒くてエミリーが……着換えを探してあげなくては……」 主　人　「ハハハ……その点なら御心配なく、今迄に作った流行の服が沢山あります ～ 外出用の帽子やコートから、ビロードの服やレースの下着、手袋に靴まで、なにしろ！ ～
125	主人、セーラの前に中腰になり得意になってしゃべる さっと手をひろげて		
126	子供服が飾ってある店内		(off) 私共は、それを作る専門ですからな…!!」
127	店内を見回してにっこりする父と娘 大きくうなづく主人		セーラ　「まあ…よかった…!!」 クルー　「では、御主人、その服代はたっぷり払わせて頂く事を承知願えるでしょうな」 主　人　「勿論、それなら喜んで…」

	主人とクルー笑う（顔を見合せて）		二人「ハハハ、ハハハ……!!」
128	二人を見較べていたが人形をやさしく指でチョンとする 開閉するエミリー人形、微笑するセーラ、人形を抱きしめるセーラ		
129	ウインドウの内から玄関出てくるセーラはエミリーを抱いてクルーは箱をかかえている		
130	通りへ出るセーラ、粉雪が降っている、見上げて		セーラ「あ……お父様……」
131	雪が舞う		off 雪よー!!」
132	雪が顔にかかるのをたのしむセーラ、顔で雪を受けるかのように、雪、顔に舞い降りとけていく		セーラ「……フフ、フフ……」

133	セーラの後に立つクルー （注ージャンプ） 雪の中をエミリーを抱いて小躍りして手前にくるセーラ、ゆっくりと後につづくクルーとジャンプの曳く馬車		クルー「……セーラは雪ははじめてだったな……」 セーラ「ええお父様!!……見てエミリー、雪よ……これが雪なのよ!!」
134	喜々として雪の中を行くセーラ FOLLOW		

〈前半・おわり〉

150	降る雪、雪の足跡 手前から入っていくジェームスの足、一歩一歩踏みしめて…… 止る		
151	寒そうに首をすくめ大きく、くしゃみをするジェームス		

152	石段を下りていく奥へ馬車が走り出していく		
153	二階の窓に寄って下を見ている女生徒たち		
154	(フカンにする)下を見下している三人(ジェシー、ガートルート、ジェニファ)振り返り感嘆する三人囁き合う(大きな荷物、沢山)広場の横を走る先程の馬車が行くのが見える		「新入生…!」 「インドだってさ!」 「……お金持ち……」
155	フーフーいいながら両手に荷物をもって三階へと昇っていくエンマとマリエット		
156	フーフーいいつつ、三階へと昇っていくマリエッタ、先程の三人、口をあんぐりして見つめている、顔を見合せて三人急いで忍び足で三階の階段の方へ来る		

157	158	159	160
自室の扉をあけて苦々しげに見ているミンチンの前をフーフーいいながら行くエンマ　—間— マリエット、荷物を落としそうになる、かろうじてもち直し行く	セーラの個室へ入っていく二人 手前の階段を忍ぶように昇ってくるジェシーとガートルート	ジェニファとガートルートがゆっくりとのぞく、つづいてジェシー、蔭が床に入る、さっとスカートの裾が入って来て止る びっくりする、ジェニファ起き上る瞬間にガートルートのアゴにひじがあたり、ジェシー、ガートルートの頭にあごをごつんとする	白い光に充ちた画面（透過光） 黒いかげが動き天窓を背にした
		三人　「あ——ッ!!」	

	ミンチンがにらんで立っている		
161	痛いのを我慢して立つ三人		
162	三人の前に立っているミンチンにらんでいる、階段を降りていく……いたいところをおさえながら、ミンチン、自室へ戻りながらちらりと下を見る		ミンチン「……はしたない!!……のぞき見は淑女のすることではありません!」 三　人「……ハ……イ…」
163	もどっていく三人、踊り場におりて来てあっとなって止る ゴッンゴッン		「あっ!!」
165	シーザー見上げている　—間— ゆっくりと回っていく		
166	三人の行手にシーザーがいる 三人、さすりながらにらみつけている		
168	にらみながら歩いていくシーザー、壁にドスン!		(ウギューッ!!)

169	喜ぶ三人		
170	石炭をかいているアメリア		アメリア「……驚きましたね、あの子の服…」
171	スコップで石炭をすくってダンロにくべる（照り返しー注）	SE	アメリア「……フランス製のペティコートに、ヴァレシアのレースの下着」
172	窓外を見つめるミンチン、動かない、雪あたり　F・O		アメリア(off)「……スイス刺繍のハンカチに絹の靴下」
173	火を調節しているアメリア、口許がゆがむミンチン アメリア、道具を片付けながらミンチンのぴくりと動く眉毛		アメリア「……それもダース単位で……ほんとに私なんて絹の靴下一足買いたいと思っても……」 ミンチン「アメリア!!」
174	石炭箱の蓋をしめようとしていたアメリアはっとなり手をはなす、蓋バタンとなる ギクリとなるアメリア		S・E　（バタン）
175	じろりと後を意識するミンチン ゆっくりと目を元に戻して ゆっくりとおき上るアメリア		ミンチン「……あの子をどう思っているのです」 アメリア「……はい…良い子だと……」 ←

176	アメリア	……思います……可愛いくて……素直 そうで……プリンセス…みたいに…… ←（こぼす）
177	冷やかに首を振る、スカートを 握りしめる	ミンチン「あの子は父親によって甘やかされ過 ぎて育っています」
178	外を冷たく見つめている	ミンチン「……甘やかされて育った子供は、と ても扱いにくいものです……」
179	ミンチミン、窓に向ったまま	ミンチン「我侭で、なんでも自分の思う通りに ならないと気がすまない……そう云う 社会性のない子は ～ 学校に不向きです」
182	きっとなるミンチン、驚きの表 情で見つめるアメリア ミンチンの表情にわずかなほほ えみが浮ぶ、怪訝な顔をするア メリア、ミンチン、アメリアの 方を見る	ミンチン「でも……私は、あの子がこの学院に 来てくれた来を喜んでいます」 ミンチン「云うまでもなく ～ それはこの学院の経営の安定に結び つくからです」
183	うなづくアメリア 語調変って	ミンチン「アメリア…。あの子は当分特別扱い

Book た.

			にします」
184	ポカンとなるアメリア		
185	ミンチン、窓の方へ再び歩く		ミンチン「バロー弁護士が何度も云っていたように……あの子は父親に溺愛されています。 〜 ……もし、あの子が父親にこんな学校は嫌いだと手紙を出したら……父親はここを辞めさせて他にかわるでしょう…」
186	ミンチン、又窓を見つめて		
187	頷くアメリア、緊張している、ミンチンの手がつかんだスカートを強くにぎる		
188	くるりとアメリアの方を振り返るミンチン		ミンチン「そうさせてはならないのです…！判っていますね……アメリア…！」
189	緊張したアメリア、思わず直立して ちらりと振り返り窓外を見るミンチン		アメリア「はい……！ 院長先生！」 S・E　（馬車の音がして止る） ミンチン「見えた様です……丁寧にお迎えを…」 アメリア「はい、院長先生…」

190	雪景色の学院前、止っている馬車より降り立つクルー 〔クルー、オームの篭、セーラ エミリー（人形）〕
191	クルー、セーラの手をとって馬車からおろす、ピーター、毛布を手にして傍に立っている 父と娘顔を見合せる 父、セーラの背に手廻して促し玄関に向う（淋しそうなセーラと、つとめて明るくするクルー）
192	セーラの足止る 片足一段昇り止るクルーの足
193	淋しそうな表情でぎゅっとエミリーを抱きしめるセーラ あるき出す（昇る）
194	セーラの足が力なく昇っていく 止まっていたクルーの足も後からついていくように昇っていく

58

195	石段を昇っていく二人、扉の前で止る		
196	三階の窓、扉が開いて入ってくるクルー、ミンチン、アメリアたち、見廻すクルー、愛想よくミンチン微笑して、前に出てくるクルーにしたがうミンチン、アメリア、二人の後を追って out していく（その前に扉をしめて）		ミンチン「……ご覧の通り……全て整えておきましたわ…」 ←～～～～ （こぼし）
197	クルーとミンチンの後に立って二人を見上げているセーラ		クルー(off)「いや御無理を願って恐縮でした」
198	後を見るクルー、セーラに気づいて前に出してやりセーラに部屋の中を見るように指をさす、見るセーラ		
199	机		
200	本箱		

SE

201

セーラを見つめるクルー
扉が開いて出て来るマリエット
軽く会釈して
鳥かごを下げ終ったアメリアと
マリエット手前に来るクルー、
手前を向き

マリエット「……衣裳戸棚に入り切らないお洋服は、トランクの中に残してございますが……」
クルー「ありがとう……」
クルー「院長先生、出発までの時間セーラと二人でいる事をお許しいただきたいのですが……」

202

愛想よく、セーラを見て

ミンチン「よろしうございますとも……セーラさん……お父様と充分お別れをするのですよ……」

203

ミンチンを見つめるセーラ叩頭する

204

軽く会釈して、アメリア、マリエットを促す、マリエット扉を開ける、ミンチン出ていく、それに続くアメリア、マリエット扉しまる（出る前にアメリア、マリエット会釈をして下さい）

205

見送っていた二人、顔を見合せ

R

	206	207	208	209	210
て、クルー微笑する セーラ歩いて、Fr・out	燭台の前に来てマッチを出してするクルー	エミリーを椅子に座らせるセーラ、立ち上るセーラ、ちょこんと座っているエミリー、カタンとなり動く目（セーラの方を見る様な動き）	微笑するセーラ、コートを脱ぐセーラ	マッチをすりローソクに火をつける、振り返り見る	コートを脱ぎ終るセーラ、エミリーの椅子をピョンと押す、前后にゆれる椅子、セーラ机の方へ行く
クルー　「さ、楽におし…」 セーラ　「ええ……」					

211	ゆれる椅子、前に来て止るクルー、セーラの方を見ていたが椅子に手をかける		
	A・C		
212	止る椅子、エミリーかたんとなって背をもたせかける、目がパチリと動きクルーを見るようになる、セーラ机を点検している		
213	じっと見つめるクルー		
214	コート、椅子にかかっている、セーラ、机を見ていたが棚の方へ歩く（out）セーラの行く方を目で追うクルー		
215	本箱の前へ行くセーラ		
216	見廻してにっこりする、後に来るクルー、セーラ父を見上げる		クルー(off)「セーラ…」
217	じっと見つめながら		クルー「……最后に私に云っておきたい事は……なかったかね」

218	無言でこっくりとうなづき、身を翻してオームの方へ		
219	スカートをまびかせて鳥篭の方へ		
220	オームの篭の前に来るセーラを淋しく見つめるクルー、セーラスカートをつまみ礼をしてシーサーに笑みを返す、くるりと振り返るセーラ A・C		シーサ（オーム）「セーラ……セーラ…！」 クルー「……私もセーラに云う事は全部話してしまったような気がする…」
221	明るい顔で		セーラ「私……お父様に、手紙を書くわ……週に一度づつ……」
222	口許に笑みを浮べて		クルー「ほう…」
223	一寸考えこむような、すましたポーズをして、歩き出すやや（FOLOOW）		セーラ「……学校の事や……新しく出事たお友達のことや……」
224	目でセーラを追うクルー		(off) ……〜それから〜……勿論！

225	セーラ椅子に座る、セーラの前に歩みよるクルー、セーラをじっと見つめている		クルー　エミリーのことも…」 「……では……私は週に二度づつ手紙を送ろう　～
226	じっと見つめるセーラ		off　インドのことや、私の仕事や……セーラの　～
227	じっと見つめながら		夢を見たなんて事もね…」
228	227見た目 見つめながら頷くセーラ		
229	立つセーラ、見つめ合う父と娘		
230	228兼用　見つめるセーラ		
231	227兼用　見つめていたが…		クルー　「……セーラ　～ そうやって、私の顔を眼の底に焼きつけておこうとしてくれているのだね…」
232	229兼用 うなづくセーラ、見つめ合う父と娘		クルー　「……私もだよ…」

233	ダンロの火		
234	229兼用、書き足し 見つめ合っていたが、内ポケットに手を入れるクルー 写真をとり出す、受取るセーラ		
235	受取り、写真を開いて見る 口許に軽い笑が浮ぶセーラ		
236	写真		クルー(off)「憶えているだろう……」 ←（こぼし）
237	見ているセーラ、クール傍の椅子に座る、セーラかすかにうなづく、セーラの唇が震えてくる		クルー「……お母さんが元気なころカシミールの別荘で撮った写真だよ」
238	写真をもつ手がふるえる パタン、閉じられる		
	A・C		
239	写真を胸に抱いて目をつむっているセーラを強く抱きしめるクルー、顔をクルーの胸の中にうづめるセーラ、やさしく髪の毛		

をなでるクルー

O・L

240

抱き合っている父娘、寄りサイズ

O・L

241

もえているダンロの火（兼用可）

O・L

242

239兼用、書き足し
抱き合っている父娘……顔を上げるクルー、顔を上げて父を見つめ、じっと見つめるクルー
くぐもるクルーの顔
くぐもるセーラの声
じっと見つめるクルー……!!
力強く抱きしめるクルー

クルー「……セーラ、もう行かなくては……」
セーラ「……お父様……」
クルー「……!」
セーラ「私……あたし……ここにいます……」
クルー「……」
セーラ「だって……お父様の前で……泣きたくないから……」
クルー「……セーラ!!
〜
判っているよ……
……私も……そっとここを……出ていくよ……」

243

激情のクルー、悲しみをこらえているが、やがて、顔をわずかに上げて

244

胸の中で唇をかみしめこらえる
セーラ、セーラ顔を上げる

A・C

クルー(off)「……じゃ……セーラ……
〜

245	A・C 起き上りクルーを見つめるセーラ、微かに頷づくセーラ、ひざから降りるセーラ	……元気で勉強するのだよ……」
246	A・C 床に降り立つセーラ、みつめるクルー、ゆっくり立ち上るそっと肩に手をおくクルー、ひたいに顔をよせていく	
248	A・C ひたいにキッスをするクルー、起き上るクルー、じっと見つめるセーラ	
249	見つめているクルー、……が振り返りセーラに背を向けてあるき出す、はっとなり前に出るセーラ	
250	踏みこたえる左足……奥へあるいていくクルーの足、セーラの右足がゆっくり前に出て止る	
251	見つめているが……直ぐ唇をか	

	みしめて背を向けるセーラ		
252	ドアのところで止り、ノブに手をかけ止め、ゆっくりセーラの方を振り返るクルー		
253	背を向けているセーラ		
254	じっと見ているクルー やがてノブに手をかけ回す		
255	じっとしてうつむいているセーラ、身を堅くしている はっとなって振り返る		S・E（扉の開く音ーゆっくり静かに） S・E（しまる扉の音）
	A・C		
256	扉の方を見て走り出す		
257	ノブに手がかかろうとする…… 止まる		
258	ノブを見つめていたが、唇をかみしめて震えている		

259	グッとノブをつかむ……止る…		
260	つかんだまうなだれていくセーラ（気もちです）		「ああ……開けたい……でも…あけちゃいけない！」
261	ノブから手をはなし下げる手、くるりと振り返りドアにもたれかかるセーラ		
262A	扉の前にじっと立つクルー		
262B	ためらう手……下に降ろす、ぐっと握ぎられる		
262C	扉をにらんでいたが、背を見せる		
262D	一寸間があって、手前に歩いてくるクルー		
262E	扉にもたれ目を閉じていたセーラ、ハッとなって目を開ける、		

	耳を扉におしつけて外の音をきくかのごとく
263	階段の降り口まで来て止るクルーの足
264	心もち振り返り見てやおら階段を降りだすクルー
265	降りていくクルー
266	ドアを背に唇を噛むセーラ 目をあける身をおこす
267	力なく前へ歩くセーラ、止る
268	写真を抱きうつむき瞑目していたが力なく目をあける、だんろの火の照り返し
269	椅子に座ったエミリー、くずれるようにしてエミリーをだき上げるセーラ、ゆれる椅子

270	エミリーを抱きしめているセーラ、一層強く抱きしめる		S・E　（足音）←〜
271	ゆれる椅子の前で、じっとエミリーを抱きしめているセーラ		S・E　（ノックの音） マリエット(off)「お嬢様、お父様がお発ちです、院長先生がお見送りするようにと…」 S・E　（ノックの音）
272	ノックするマリエット、返事がないので		マリエット「……お嬢様……お嬢様!!」 〜〜
273	エミリーを抱きこらえているセーラ		(off)　お嬢様……!! ←〜〜 お嬢様……!!」
274	片手を床につきくづれるがエミリーは抱きしめられている		
275	御者台上に襟をつかんで震えているピーター（夕方である） ピーター、はっとなって飛びおりる		S・E　（扉の音）
276	ミンチン、アメリアにあいさつ		

	するクルー、扉閉められ外を向き帽子をかぶるクルー、手前にあるき出す		
277	うすくつもった雪の上をクルーの足が右段を降りていく		
278	座席より毛布を取るピーター、クルー近くまで来止る、ピーター会釈をするのに答えて振り返り三階を見上げるクルー		
279	三階の窓		
280	見上げているクルー、肩や帽子に降る雪がはらりと散る		クルー　「（呟く）……セーラ…」
281	見上げているクルー、手前を向いて馬車に乗るクルー（ゆれる馬車）ピーター毛布をクルーのひざに掛ける、ピーター掛け終り御者台の方へ行き乗る、クルー三階を見上げる		

282	見上げているクルー		
283	灯がちらちらゆれている		
284	見上げているクルーと堅くなっているピーター		
285	堅くなっているピーター、帽子肩、手に雪が……手をこすり合せる、振り返りクルーを見る		
286	帽子や肩に雪が乗っているクルー		
287	見上げているクルーを肩ごしに見ていたピーター、前を向く		
288	見上げているクルーと三階の窓		
289	284兼用、書き足し　前を向くクルー、ポニーを促す、ガタンとゆれて前に出ていく馬車		クルー　「港へ…」 ピーター「は…はい、旦那様…」 S・E　(馬車の音) 〜

290	エミリーを抱いて座っているセーラ、顔を上げる、行きたいのをこらえる　T・U　唇を噛みしめ目を伏せてエミリーを強く抱く		
291	ローソクの火、大分みじかくなっている、ゆれる火		
292	床につかれた手、床に爪が立てられる（ゆっくりと…）ぎゅっ！　と握りしめられる手さっと立ち上るセーラ		S・E（馬車の音、除々に小さくなっていく）
294	奥へ行く馬車…雪にわだちをのこしながら（雪はノーマル）		
295	窓の前、口惜しい顔でのぞくセーラ		
296	馬車奥へ行く、曲るとき向いの家で明るくなってる馬車		

297	はっとしてグッとのり出す、窓に当り消える雪（流さなくていいのです）		セーラ「お父様……！」
298	兼用、書き足し、向いの家の明りに明るくなって角を曲って見えなくなる馬車		
299	目を皿のごとくして見るセーラ震える唇、曇っていく目と眉、泪がにじんでくる		セーラ「（小さく）お父さま……」
300	外は雪、父の去った道の奥当りはかすかに明るい、立ち尽すセーラ T・B		
301	扉が開いて入ってくるミンチンつづいてアメリア、扉をしめるアメリア、いいながら手前に歩いてくるアメリア		アメリア「どうしたのでしょう……セーラさん…
302	長いすに座るミンチン手前をスカートの裾をもってin		〜 (off) ……お父さまのお見送りもしないで…… マリエットの話ではお部屋に鍵までか

	outしていくアメリア		けて、泣声も聞えないんですってよ」 ミンチン「結構よその方が……」
303	ダンロの前でオドロイて振り返るアメリア		アメリア「……え！」
304	口許に微笑を浮べてアメリアの方を見ていたが目線をそらして		ミンチン「あんなに甘やかされてるから、またいつもみたいに泣いたりわめいたり… 〜 と思ってたけど……大助かり…さ…」
305	満足げにほくそえむミンチン		
306	?! となるアメリア（息をのむ）		
307	ダンロの火はよわい、かすかに燃えていたローソクの火が消えて、黒い煙がのぼる（ＢＧＯＬ）		
308	くらいところに立つセーラはっとなる！		Ｓ・Ｅ（汽笛）←〜
309	屋根、屋根の向うにテムス河が見える、雪しんしんと降っている		Ｓ・Ｅ（汽笛）〜

Ｏ・Ｌ

No.	画面		台詞
310	兼用（BGはC—#よりくらい）T・U　O・L		←〜〜〜〜
311			N「　」
312	兼用（BGはC—#よりくらい）		
313	みつめる目に溢れる泪、ほほを伝う　T・U（ゆっくり）		セーラ「そうです、私は泣いていました……お父様に知れないここで……それを知っていたのは天国にいるお母様、それにエミリーだけだったのです……」

〈END〉